

# あかねの集い

第151号  
平成26年 5月30日  
発行者  
社会福祉法人あひるの会 あかね園  
〒275-0024  
習志野市茜浜 3-4-5  
Tel 047-452-2715  
<http://www.akaneen.com/>

## 新年度オリエンテーション

あかね園の多機能型事業では、4月1日（火）12名の新園生を含む83名で、平成26年度が幕を開けました。あかね園では毎年新年度初日となるこの日に、オリエンテーションを行ないます。登園後、食堂に集合し、園長の挨拶と職員紹介、そして園生の所属班や担当職員を確認しました。その後、それぞれの事業に分かれ、園生一人ひとりが事業の目的を理解すると共に、自分の目標をしっかりと確認し、それぞれの新年度がスタートしました。

### ●自立訓練事業

少し緊張した表情の新人園生、後輩を迎えて少し凛々しい表情の2年目園生、新しい年度が始まるにあたってどんな取り組みをするのか、自分の担当職員は誰になるのか・・・それぞれ真剣に事業計画を見つめていました。あかね園の中だけでなく、社会人として守らなければならないルール・マナーについても勉強する機会となりました。その後、新人園生を対象に園内の案内や挨拶の練習等も行ないました。新しい環境への期待感、緊張感が漂い慌ただしい中でも、新年度初日を無事に終えることができました。（担当：白井）



### ●就労移行支援事業

就労移行支援事業は、「別館班」「IKEA班」「TEMPOS班」の3班体制でトレーニングを行なっており、別館班は、あかね園隣にある『京葉測量株式会社』の1階フロアの一部を作業場としてお借りしています。外作業班である2つは、職員引率のもと企業内での取り組みを行なっており、企業の方々に関わる機会が多いのが特徴です。

オリエンテーションは、社会人としての自覚、働く上での意識について丁寧に確認できる機会であり、企業への就労を目的とした事業ということを考えると、大きな意味を持った取り組みと言えます。長く働いていくために、そして地域の中で受け入れていただけるよう、毎年このオリエンテーションに力を入れています。

（担当：石坂）



### ●就労継続支援B型事業

事業内には3つの班があり、各班に分かれてオリエンテーションを行ないました。

本場班は、作業、ルール・マナー、行事等を確認した後、自分たちが1年間頑張りたい目標を考え、それぞれ発表しました。東京アート班は、作業内容や1日の流れ、企業で必要なルール・マナーの確認、就労する上で必要な取り組み（履歴書の書き方や面接練習等、職場実習に向けた学習）等について説明しました。市川環境班は、安全面や事業所の方と一緒に働くために必要なルール・マナーの確認を中心に行ないました。洗濯や掃除等、事業所内で本人たちが任されている係の確認をしたり、月間予定（生活実習等）を発表したりしました。

班毎で特徴が大きく異なり、年齢も20代～40代と幅広いため、それぞれの班に合わせた説明でスタートを切りました。（担当：横山）



# あかね園からの報告&お知らせ

## 自立訓練事業

今年度の自立訓練事業は、新たに12名の園生を迎え、25名でのスタートとなりました。

地域で暮らし、働く上で基本となる丈夫な体と最後までやり遂げる気力、良い生活習慣の定着に重点を置いて、取り組んでいきたいと思えます。また、作業の取り組みを通じて、「報告、質問、相談」「働くことのイメージ」「対人マナー」を学んでいきます。

契約期間の中で、幅広い経験をして多くを学び、そして感じたことを身に付けてほしいと思えます。



## 就労移行支援事業

新たに10名の園生を加え、36名で新年度をスタートしました。

就業生活を継続していくためには、仕事の能力だけでなく地域社会の一員としての生活能力も身に付ける必要があるため、今年度は外部講師による勉強会等、生活面のプログラムも充実させていく予定です。

また、近年就職後の定着支援の内容が多岐に渡り、そちらにも力を入れていく必要を感じています。

一人ひとりが経験と自信を積み重ねながら「長く働ける職場」に就職できることを目指し、職員一同サポートしていききたいと思えます。



## 就労継続支援B型事業

今年度は利用者25名、3つの作業班体制でスタートを切りました。他事業とは異なり、利用年限のない特性を生かし、利用者の受け入れや取り組みを行ないます。

大きな目的は2つあり、一つは年齢の高くなってきた方に対して、働く場を提供すると共に体力の維持、心身の健康を目指す取り組みを行い、安定した地域生活を継続してもらうことです。二つ目は就職を希望する方に対して、企業内の作業班を活用しながら、適性に合った職場に繋げることです。

今年度は今まで以上に3班が連携を図り、班の特徴を上手く活かして個々の状況に合わせた支援を行おうと考えています。生活面での取り組みも、幅を広げ、余暇的な活動や就職を意識した企画を取り入れていく予定です。



## 就業・生活支援センター

今年度も、「働きたい」と願う障害を持つ方々の、就労や生活の支援を行なうため、関係機関と連携して職場開拓や基礎訓練、定着支援を実施します。また、企業に対しても雇用管理や情報提供等のサポートを行なうと共に、より積極的な障害者雇用を促し、継続的かつ安定した雇用が続くようバックアップしていきます。

4月21日には在職者交流会を開催し、50名の参加がありました。就職して間もない方が、長年働いている方の話を聞く場面も見られ、働くことの大変さや楽しさをお互いに共有し、励まし合いながら仕事に取り組んでいけるよう、職員一同サポートしていききたいと思えます。

(担当：下西)

## グループホーム

あかねホームは、これまでの生活ホームとグループホームの混在型から4ホーム全てがグループホームとなり、本体施設の近隣地域に転居したことで、サポートがよりスムーズになりました。その中で、それぞれのホームコンセプト（訓練型、通過型、多目的型）を明確にし、入居者の将来に目を向けた支援を行なっていく準備が整いました。

また、体験利用については、実籾、鷺沼の両ホームが現在利用可能となっております。個々の目的やニーズに応じ、より多くの方に利用していただきたいと思えます。各ホームの空き状況につきましては、お気軽にホーム担当までお問い合わせください。

(担当：渡辺)



<あかねホーム幕張>



<あかねホーム幕張西>



<あかねホーム実籾>



<あかねホーム鷺沼>

●所在地

千葉市

習志野市

●定員

6名

5名

●目的

多目的型

通過型

訓練型

## 余暇

あかね園では毎月2回、土曜日に太鼓、刺し子、絵画の文化サークルと、サッカーサークルに分かれて余暇活動を行なっています。

太鼓教室は船橋芝六太鼓の方を講師としてお招きし、「夏祭り」や「大東京音頭」、「きよしのズンドコ節」等の曲を、納涼祭での発表に向けて練習に励んでいます。絵画教室も地域の講師の方をお招きし、季節にあったテーマで作品を描き、コンクール等への出品も行なっています。昨年は「ふなばし百景コンクール」に参加し、1名優秀賞を受賞しました。刺し子教室は保護者の方を講師として、参加者どうし会話を楽しみながら活動を行ない、バザー等での販売も行っています。サッカーは習志野市のNBSという団体のご協力の下、地域の小学校等のグラウンドをお借りして、練習の指導をしていただいています。また、年に数回千葉県障害者サッカー連盟主催の大会に出場しています。

毎回、文化サークルは約50名、サッカーサークルは約20名の方が参加しています。今年も参加者の皆さんに楽しんでいただけるよう取り組んでいきますので、よろしく願いいたします。（担当：吉原）



## 職員研修

今年度も、職員のスキルアップのため全体研修と個別研修を行い、利用者のニーズに応じた良質のサービスが提供できるように、専門性と個々の能力の向上に努めていきたいと思えます。職員全体研修は、毎月第3水曜日の午後を予定しています。研修日は利用者の皆さんは給食を食べずに半日で降園になりますが、ご理解とご協力をお願いいたします。また、個別研修はそれぞれ必要な時期と内容により外部研修も利用しながら行ないます。（担当：高師）

<平成26年度 全体研修予定>

\*8月・12月の研修はありません

4/16	法律・制度・運営に関する研修会
5/21	利用者支援についての勉強会
6/18	他施設見学
7/16	外部講師による研修会

9/17	防災に関する確認・訓練
10/22	他施設見学
11/19	保健についての勉強会
1~3月	今年度の総括と次年度に向けての準備

## 保健

昨年度末から園内にインフルエンザが大流行し、今年度はあかね園開所以来、初めて欠席者が多数いる中で新年度を迎えることとなりました。

3月中旬に園生から始まり、園生、職員が代わる代わるインフルエンザに罹り、4月中旬ようやく終息を迎えました。（体調不良者が数名出た時点でマスク着用の促しを行ないました）

今回のことがあり、園内でも日々の「手洗い・うがい」「咳エチケット」の確認を行ないましたが、ご家庭でも、微熱がある時や咳が続くなど、症状がある時は無理に登園させず、体調のチェックをお願いいたします。

（担当：長田）



### 梅雨



6月中旬頃から「梅雨」の季節になります。天気予報を確認しながら、天気や気温に合った服装を選びましょう。下記の注意点を付けて、雨の日に備えましょう。

#### 《服装》

- 靴は防水のものを選ぶ（長靴等）

#### 《持ち物》

- 風の強い日は折り畳み傘より、しっかりとした長い傘にする
- 濡れた衣服を入れる袋
- 着替えの準備【靴下・Tシャツ】
- 濡れた体を拭くタオル



### 食中毒



梅雨から夏にかけて、食中毒が心配な時期に入ります。食中毒予防の3原則に気を付けて、予防していきましょう。また、食中毒の予防で基本的なことは「手洗い」です。正しい手洗いを身に付けましょう。

#### ①細菌をつけない

→手洗いをしっかりする！

#### ②細菌を増やさない

→買ってきたもの、調理したものをそのままにせず、直ぐに冷蔵庫にしまう！（※冷蔵庫の中でも、細菌はゆっくりと増殖するため、過信しない）

#### ③細菌をやっつける

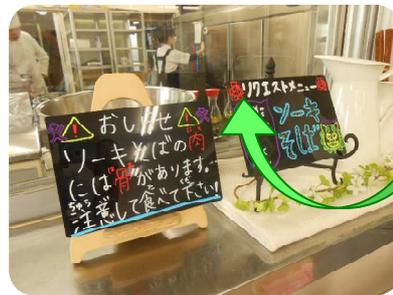
→食品はしっかりと加熱し、調理器具も熱湯をかけて殺菌する。

#### 食中毒予防の3原則

## 🍳 厨房より ✂️

4月17日の給食は、自立班園生のリクエストメニュー、「ソーキソバ」でした。6月にも給食会議を行います。まだ出たことのないメニューのリクエストを楽しみにしています！

(担当：山崎)



厨房からのメッセージも



## ≪ 保護者の活動 ≫



### 保護者会

4月4日の総会は、インフルエンザの流行で急な欠席者もありましたが、39名の方に出席いただき全ての議事が承認されました。さて、今年度も就労者親の会と協力して、園が円滑に運営されるための取り組みを行ないます。また、毎月の定例会ではバザーの準備等と併せてホームや仕事場の見学、就労や生活のお話し等という内容を予定し、この企画を通して園生の将来に向けた園と親の認識を共有したいと思います。ご協力をお願い申し上げます。(保護者会会長 南部)

### 就労者親の会

4月25日、就労者親の会定期総会を開催。用意された全ての議案が承認され、会員数133名の大所帯となった親の会の新年度がスタートしました。過去にない72名もの多くの出席者数は、あかね園への感謝と期待の大きさを表すものと言えます。「誰かに頼る前にまず親ができることを精一杯する」という設立時からの“あかね園に集う”親たちの精神を今一度おなかに飲み込んで、今年も活発な活動を目指します。あかね園応援のための「バザー等のボランティア活動」と、働く子どもを支える家庭の役割をテーマにした「研修」の2本柱を活動の中心に据えて、仲間と手を携え元気に楽しく活気ある一年を過ごしたく思います。

(就労者親の会会長 岡崎)

### 友の会

今年度も友の会は、皆様の支えを力に活動をしてまいりたいと思います。目下、会員継続と会費納入を保護者会、就労者親の会の皆様をお願いしている時期ですが、年々ご理解も深まり、順調に進んでいることをありがたく思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。さて、コンサートの準備も佳境に入っています。皆様にはチケット購入でもご協力お願いしていますが、こちら合わせてよろしくお願いいたします。どなたにも楽しんでいただける内容ですので、お誘い合わせてお出かけください。また、年度末になりますが研修会も開催予定です。各会でも勉強会が充実していると思いますが、友の会は誰にも共通のテーマでと考えていますので、内容などご意見・ご希望がありましたら是非お知らせください。事務局に念願の新メンバーが加わりました。どうぞよろしくお願いいたします。(友の会 中内)

## あかね園からのお知らせ

### 園の掲示板、ホームページを 定期的にご確認ください

- 園の掲示板(本場2F事務所脇の廊下)には、各事業や保健・余暇関係等、最新情報が貼り出されます。
- ホームページには、あかね園の取り組み内容をはじめ、インフルエンザの流行や震災等における被災・避難状況、バザーのお知らせ等の最新情報が掲載されます。

インターネットで「あかね園」と検索  
もしくは

<http://www.akaneen.com/> と入力

### 新職員紹介

4月1日、新しく3人の職員が入りました。  
よろしくお願いいたします。



新人として気を引き締めつつ、常に明るくをモットーに一生懸命頑張っていきたいと思えます。(伊藤佐紀：自立訓練事業)

基礎となる所を学びながら、働くことのイメージをしっかりと持ち、そしてスキルアップの喜びを感じてもらえるような支援をしていきたいと思えます。

(本吉晋太郎：自立訓練事業)



まだまだ未熟なところばかりですが、園生に負けず明るく元気に、自分なりの支援のかたちを見つけていきたいなと思っております。(牧野涼：就労移行支援事業)